

# 南房総・館山沖ノ島から森里川海を繋げる 自立分散型社会構築のための基盤整備事業

活動地域  千葉県



全国アマモサミット2022 in たてやま

サミット・安房高による高校生交流会沖ノ島

## 課題

海藻類やアマモ場の減少、森林の衰退等、多くの身近な自然環境の変化が発生し継続している。地域として高齢化・人口減少が進み、若者の流出が大きな課題となっている。

## 目標

自然資源を保全活用し自立分散型社会を形成する。若者の活躍の場を創出し、域内就業、Uターン者を増加させ、さらに環境保全・再生を継続し、自然環境を次世代に継承する。

今後の  
展望

今、自然環境を未来に伝え守ることを社会が後押ししている。ブルーカーボン、カーボンニュートラル等様々な仕組みが動き出している。その仕組み、背景の中でこの地域の自立分散型社会を形成し、実現していきたい。

ひろげる助成

1年目

実践

## 活動内容と成果

- 「全国アマモサミット2022 in たてやま」の開催を通じて若者自らが動ける組織を提唱した。地元の高校生が登壇。安房高校生徒会を中心にサミットスタッフとして延べ59人が運営に参画。同校環境保全プロジェクト「あわわ」がスタートした
- 森の再生活動を実施し「学びの場」として提供。若者を含む延べ126人が参加した
- 5月～11月に4回アマモ場再生活動を実施し延べ80人が参加した
- パークレンジャー活動で、延べ約30人の若者が活躍した
- 沖ノ島に近い里山モデル地区での取組みに着手した



沖ノ島森の再生活動  
ワークショップの様子

全国アマモサミットの  
延べ参加者数 **714人**

サミットにスタッフ  
参加した高校生 **59人**

今年度計画の達成度 **70%**

全体計画の達成度 **40%**

## 苦勞した点と工夫した点

### ■苦勞した点

2022年度、アマモサミット実行委員会として準備が多岐にわたった。開催は好評であったが、事業ウエイトとしては大きかった。

### ■工夫した点

アマモサミットでは、地元高校生が運営スタッフとして参画できるように配慮した。次年度以降の活躍の可能性に大きく繋がった。

〒294-0034  
千葉県館山市沼979番地  
電話：0470-24-7088  
E-mail：info@umikan.jp  
HP：https://umikan.jp/

